

# 平成23年度事業計画について

今般の広域にわたって甚大な被害をもたらした東日本大震災は、各方面に多大な影響を与えております。今、このための対策には、国の総力を結集した復旧への取り組みが求められております。

こうした中で物流の重要性、とりわけ鉄道貨物輸送の役割は、輸送手段の多様性を確保して、災害に強い輸送体系を維持して安定的な貨物輸送を可能とするという意味でも強く再確認されたところでもあります。

当協会は、国民の生活に不可欠な物資を安定的に供給し、かつ、陸上輸送の中でも環境負荷の少ない特質をもつ鉄道貨物輸送について、多様な貨物の大量安定輸送を制限する要因になる問題点の解消及び環境負荷の低減に関する調査や研究を行い、国民の生活に不可欠な物資の安定供給及び地球環境の保全を実現する事業を展開してまいります。

主な活動は、以下のとおりです。

## 1. 本部委員会活動

平成23年度の本部委員会は、昨年度に引き続き「利用促進委員会」、「輸送品質向上委員会」の二委員会構成とし活発な委員会活動を推進してまいります。併せて環境問題についても両委員会において当協会の基本活動である「エコルールマーク事業」と連携して積極的に取り組んでまいります。

また、この度の東日本大震災では東北への交通網が寸断され、物流の重要性が再認識されたところですが、それに伴い物資の大量安定供給の観点から、社会的インフラである鉄道貨物輸送に関する調査研究への関心が大いに高まってきています。

については、委員会審議テーマは今日的課題を取り込み、一委員会2テーマの計4テーマを選定し、委員会活動を進めてまいります。

「利用促進委員会」では、

- ① メインテーマ「情報システムの高度化による社会インフラとして災害に強い輸送体制に関する調査研究と提案」
- ② サブテーマ「12フィートコンテナの増トンの可能性と課題の検討」

「輸送品質向上委員会」では、

- ① メインテーマ「コンテナの臭気対策と機能向上に関する調査研究と提案」
- ② サブテーマ「鉄道コンテナ輸送時に発生する振動等の調査・解析」

なお、平成22年度本部委員会報告書を、鉄道貨物輸送の調査研究の成果を広く公衆に広める目的で、全国の国公立等の図書館及び各都道府県、関係市町村に対し寄贈いたします。

## 2. 「エコルールマーク」の普及

「エコルールマーク」は、平成22年度に登録件数200件を超える成果を得ることができました。

また、認定企業各社においても「エコルールマーク」を自社の広報活動に活用いただくケースも出てきております。平成23年度では、認定企業及び協賛企業に加え、各種量販店の協力を得るなどして、マークの認知度向上と利用拡大を実現し、貨物輸送における安定性や環境負荷について社会に啓蒙するべく努力してまいります。

## 3. 支部活動の活性化と充実

協会構成三者会員を基本に、広く一般の方々の参加を求め、支部活動の更なる活性化と充実に努めるなかで、全国的に鉄道貨物輸送による多様な物資の安定輸送についての問題点の解消及び物流過程における環境負荷に関する普及啓発に取り組んでまいります。

また、協会の「公益法人」化に向けた取り組みの一環として、本部と支部の活動の連携がこれまで以上に強く求められることから、本部としても本部委員会を窓口にして支部活動に対し積極的に参加し、支援してまいります。

#### (1) 地域に即した「利用促進会議」との連携強化

各地域における鉄道貨物輸送の安定大量輸送能力の向上や環境負荷の低減に関する問題等を継続的に検討する場として

「利用促進会議」を構築し、本部委員会との連携強化を図ってまいります。

#### (2) 「エコルールマーク」の普及に向けた取組

各地域における環境イベント等への参加、各支部開催の諸会議などを通じて「エコルールマーク」制度並びに「エコルールマーク」の活動状況のご案内により認知度の向上を図るとともに、マークの普及活動を積極的に推進してまいります。

#### (3) 鉄道コンテナ基礎知識等各種講習会の開催

各種講習会を通じて、当協会の研究成果を広く一般に周知し、鉄道貨物輸送の環境負荷性能の低減や安定大量輸送能力の向上について知見を社会で役立てていただきます。

#### (4) 講演会、セミナーの開催

各支部において、更なる鉄道貨物輸送の環境特性及び物資の大量安定輸送の能力に関する調査研究結果を一般社会に周知することを目的に、有識者による講演会やセミナーを開催してまいります。

#### (5) 物流施設及び企業見学会の開催

物流施設、製造工場などの見学会を実施し、物流に対する知見を深め、鉄道貨物輸送の環境性能の向上や安定輸送体制の向上に向けた取組を積極的に推進してまいります。

### 4. 公益法人制度改革への対応

本年度に公益法人認定申請を行うべく、諸規程類の整備及びその他申請に関わる諸準備を整え、通常総会においてご審議いただきます。

### 5. 会誌「JRかもつ」の発行

会員相互の情報交換の場を提供する媒体としての役割を果たしてきた会誌ですが、公益法人化を前提に、本協会の諸活動を社会一般に公開することを前提に、提供対象を拡大する方向で新年度より企画内容を改訂してまいります。

(1) 本部委員会活動の一般への公開

(2) エコルールマーク活動のPR強化

(3) 支部活動の地域への公開

(4) 鉄道貨物応援団の紹介 等

上記の内容を中心に広く社会へのアピールを可能とする編集を目指して参ります。

### 6. 貨物時刻表の発行

貨物時刻表は、当協会の調査研究の成果を、刊行物として出版することで公表し、国民一般に普及させる事業を行っています。特に、2011年度版は、創立60周年記念号として発行し、協会の公益活動内容、「エコルールマーク」事業等を解説し、広く活動内容の周知に努めてまいります。

### 7. 会員増加運動の推進

環境負荷が少なく、大量安定輸送に長じている鉄道貨物輸送についての研究成果を一般社会に啓蒙する活動を通して、本部・支部共会員増加に向けて取り組んでまいります。

**平成23年度(平成23年11月1日から平成24年3月31日まで)  
公益社団法人鉄道貨物協会の事業計画(案)及び予算(案)について**

公益社団法人鉄道貨物協会の平成23年11月1日から平成24年3月31日までの事業計画(案)については、社団法人鉄道貨物協会の平成23年度事業計画に基づき、引き続き実施してまいります。

なお、予算(案)については、平成23年度予算から10月31日までの決算額(第1号議案)を差し引いた残余の金額を計上しております。